

◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料440円

1、字句「苞四忍之行」

2、形式「半紙タテ使用。右に「苞四忍」、左に「之行」と臨書し、左余白に「○」

3、概観「書の研究は用筆法の研究にあるとは、静村先生がよくおっしゃっていました。私は、以前は臨書は形を忠実に写し取る(いわゆる形臨)こと

と思っていた時期がありましたが、今は、臨書はその古典の特有の技法を学び取ることにあると思っています。どのような角度から入筆するのか。入筆後筆を突くのか。入筆では力を加えず、線の中央で力を入れるのか。運筆の時、筆のどの面を使うのか。一本の線を一呼吸で引いているのか等。要するに、古典と同じ筆遣いをすれば、同じ点・線の表出が可能だと考えて実践しています。形だけに目を奪われず、用筆にもっと目を向けて下さい。

4、各字のポイント

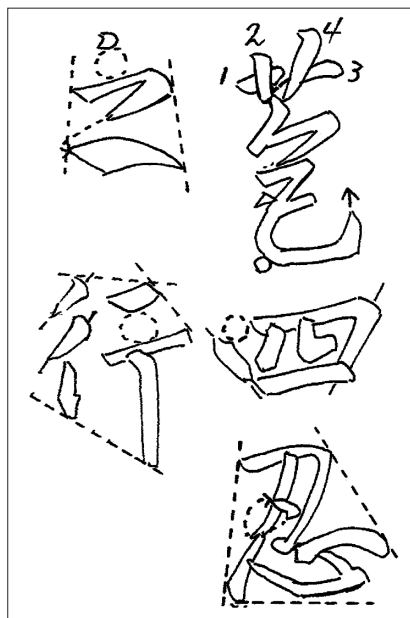
苞 草冠は上記のように書いています。米芾の書にもこのような筆順をよく見かけます。「己」△で筆の裏面を、○で表面に。

四 一画目左傾、二画目の縦画は右傾しバランスを取る。扁平に形づく。

忍 一画目と二画目稍狭く。「心」は横に広げる。

之 一画目の点は軽く。二画目間を十分あける。三画目はしっかり筆を突いて、上に引き上げ、収筆では引き抜く。

行 偏は旁に対して稍上に。旁は一・二画目間をあげ、三画目の縦画は長めに。



集字聖教序・王羲之

半紙課題(予告) (二月二十二日締切)

平岡華雪先生書

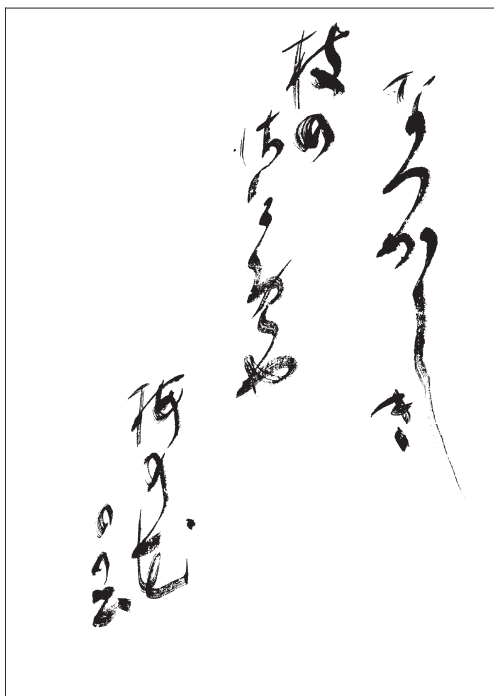
新陽故陰を改む(謝靈運)

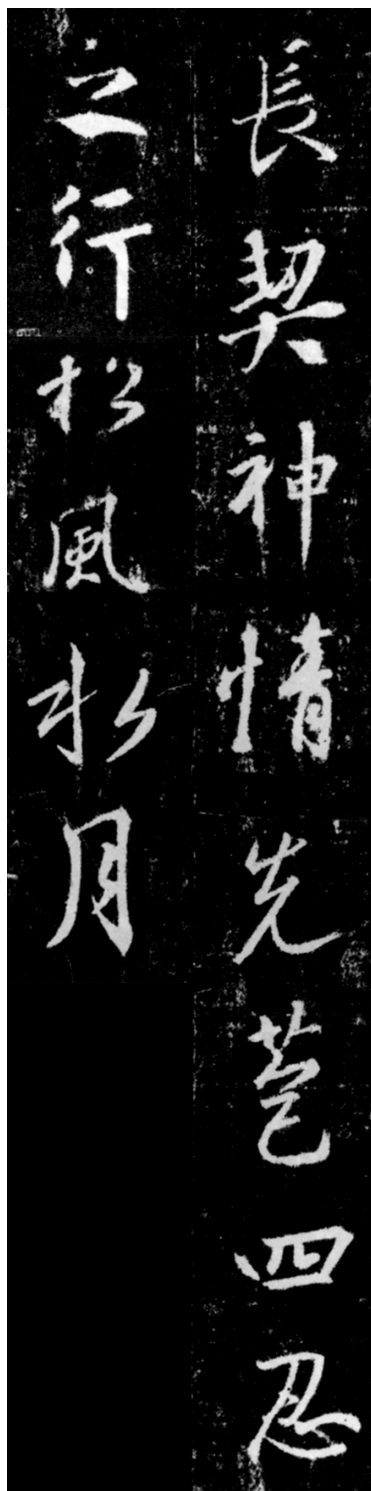
新陽改
故陰

訳：冬が去って春が来る。

平岡華雪先生書

なつかしき枝のさけ目や梅の花(其角)





長契神情。先苞四忍之行。松風水月

長じては神情に契り、先ず四忍の行を苞む。松風水月も、

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご利用下さい。抜粹可。

随意部半紙は無料。随意部条幅は一枚目無料、二枚目から五五〇円。

一字書（一月二十二日締切）

課題

謹

(1) 書体自由

(2) 半紙タテ ※ヨコは中止

(3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる

(4) 出品料 四四〇円

(5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に

一字と記入 段級は無記入

A

高橋香樹会長書

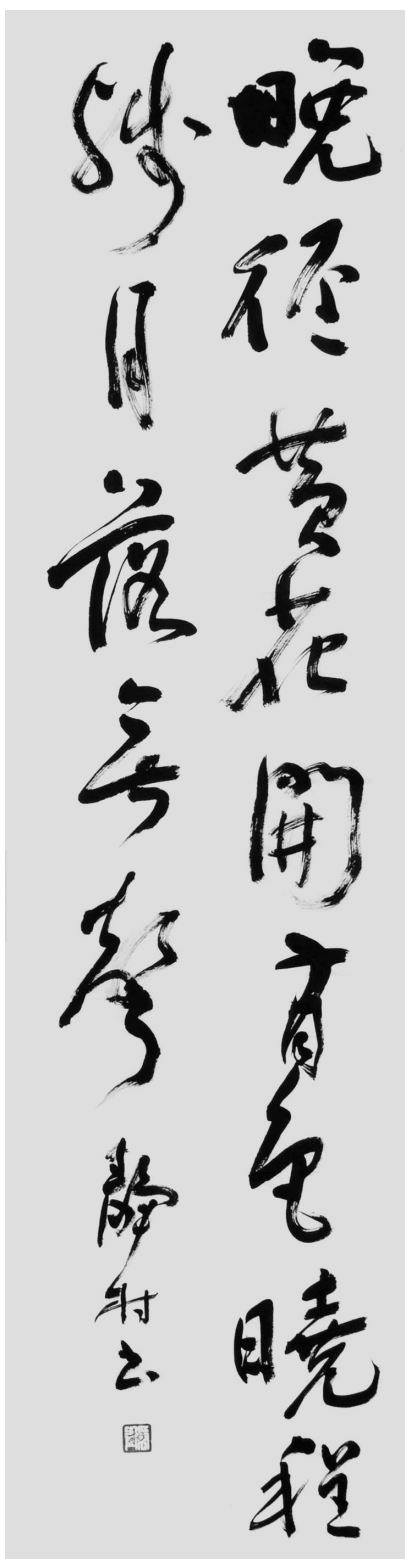
晩徑黃花開有色 曉程殘月落無聲 (査爲仁)
ばんけい ぎょうてい
晩徑の黃花開いて色有り、曉程の殘月落ちて声無し。



B

鈴木静村先生書

条幅作品に必要な要素は、潤濁・文字の大小・行の流れ・左右の行の呼応・筆線の強弱・墨継ぎ等ありますが、線の強弱・細線の表出による作品づくりができていない出品作が見受けられます。そこで、今回あえて細線での表現を試みました。「花・有・落・無」は今まで使っていないかった崩し字にしました。墨継ぎは「有」と「月」です。



晩 旁5〜7画続け、黄 草体から花へ連綿。開 門構え右、円曲気味に払う。有色 墨継ぎ。残 のびやかに。落 墨継ぎ。無声 頻度が高い、字典参考に。

訳：夕ぐれのはなは黄色にさいて美しく、夜あけに行く道の残月は音もなく落ちていく。

予告 (二月二十二日締切)

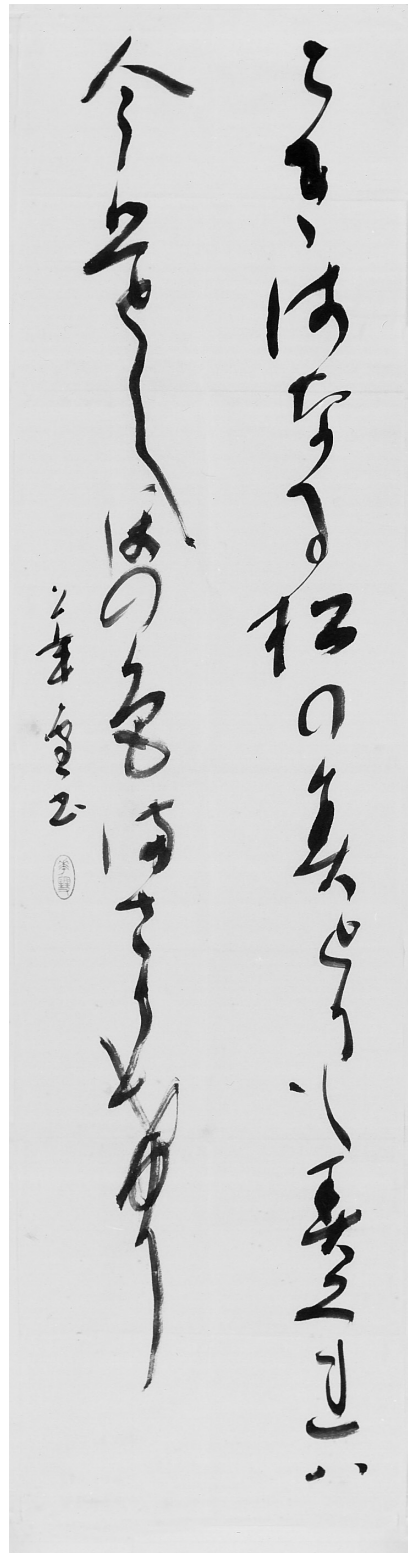
寒流石上一株松 (禅語)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

A

平岡華雪先生書

常盤なる松のみどりも春くれば今ひとしほの色まさりけり (古今和歌集 源宗于)
ときはなる松の美とりも春久連八今悲としほの色満さり希り



B

内藤香瑶先生書

と支者那る松のみと利も春久連者今比としほ乃色末沙り希り



学び方

歌意 一年中色が変わらない松の葉の緑色でも、春になればひとしほ色が濃くなったことだ。
第一行と二、三行を離れた三行書き。松の緑を強調するように、「みどり」を大きく書いてみました。

古今和歌集は、醍醐天皇の勅命により編纂された我が国初めての勅撰和歌集。紀友則、紀貫之、壬生忠岑等の歌千百首を収めている。万葉集は「雑歌、相聞、挽歌」という分類だが、古今和歌集は「春、夏、秋、冬、賀、離別、羈旅、物名、恋、雑」という部類分けをしている。源宗于朝臣のこの歌は名歌の一首で、仮名学習用教本に取り扱われていることが多い。

予告 (二月二十二日締切)

群雀檐端 (のきば) をたちてみだれけり澄み徹 (とほ) る空に強き風迅 (はや) し (吉野秀雄)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目が数字を記入する。出品料550円)

梅林寺爽葉先生書

無燈不做滿心夢 有酒何愁縮脚眠（唐伯虎）
 とうな な な こころ み ゆめ さけ あ なん うれ きやく ちぢ
 灯無く做さず心に満つるの夢、酒有り何ぞ愁えん脚を縮めて眠る。

無燈不做滿心夢
 有酒何愁縮脚眠
 爽葉書

訳：灯火がなければ満足する程の夢は結ばれぬが、酒が有るから決して心配はない足をちぢめて眠る。

向山朴花先生書

つま木こる山路もいまやたえぬらむ里だに深き今朝の白雪（新勅撰和歌集 西園寺公経）
 まき こる やまぢ も いま や た え ぬ ら む り だ に ふか き けさ しらゆき
 妻木こる山路もい万や多えぬらむ佐と多にふ可支今朝のしら雪

妻木こる
 山路もいまやたえぬらむ里だに
 深き今朝の白雪
 向山朴花書

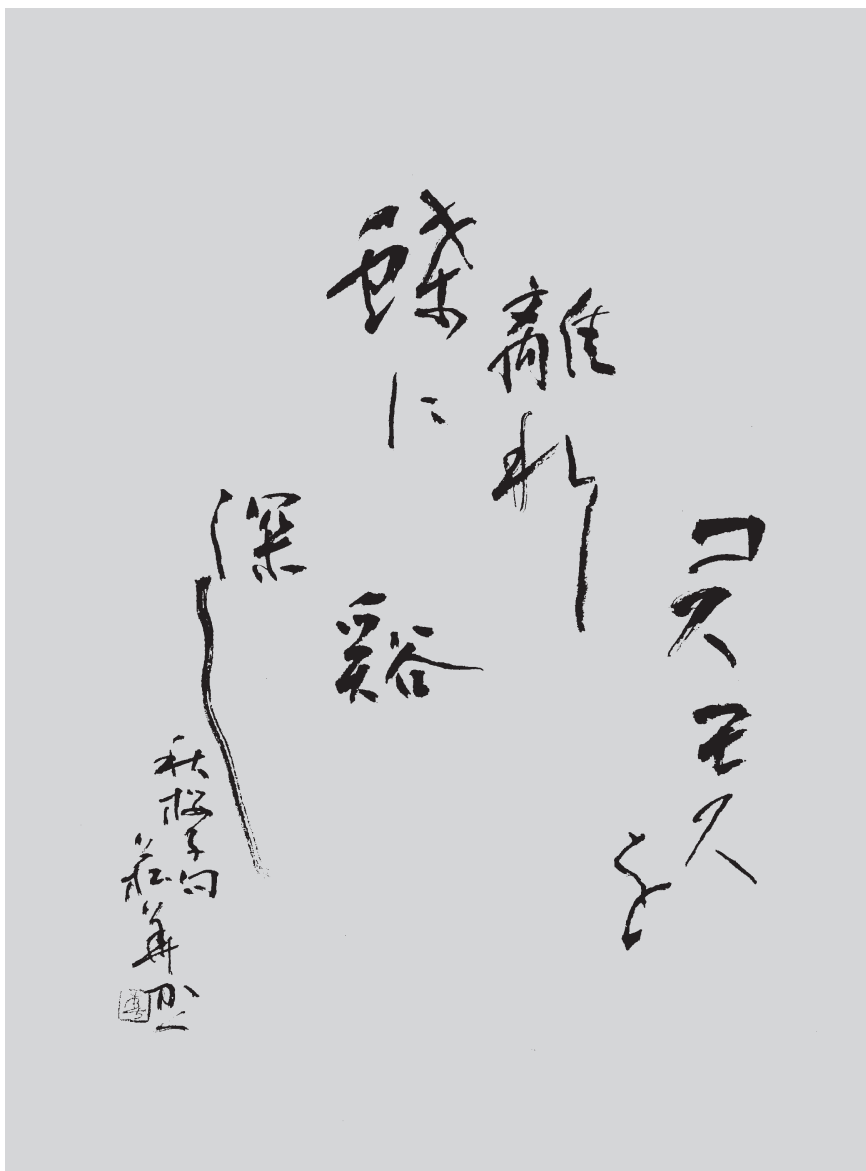
- ◆注 意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料550円）

小暮 崧 華 先生 書

コスモスを離れし
蝶に谿深し

水原秋桜子

今回は漢字が多く且つカタカナも混じり、文字数が少ない。文字を大きく、一文字一文字の表現を大切に。山場の「離れし蝶に」の「蝶」に草書を用い、華やかで動きのある表出を試み、二句と三句の終わりの「し」は同じにならないように気をつけました。



水原秋桜子（しゅうおうし）
（一九二〇—一九八二）
本名水原豊 俳人
医学博士。松根東
洋城、高浜虚子に
師事した。短歌に
学んだ明朗で叙情
的な句風で俳句雑
誌「ホトギス」
に新風を吹き込ん
だ。しかし同誌の
「客観写生」の理
念に飽き足らず、
俳壇に「反ホト
ギス」を旗印とす
る新興俳句運動が
起こるきっかけを
作る。「馬酔木」
主宰。秀句多数。

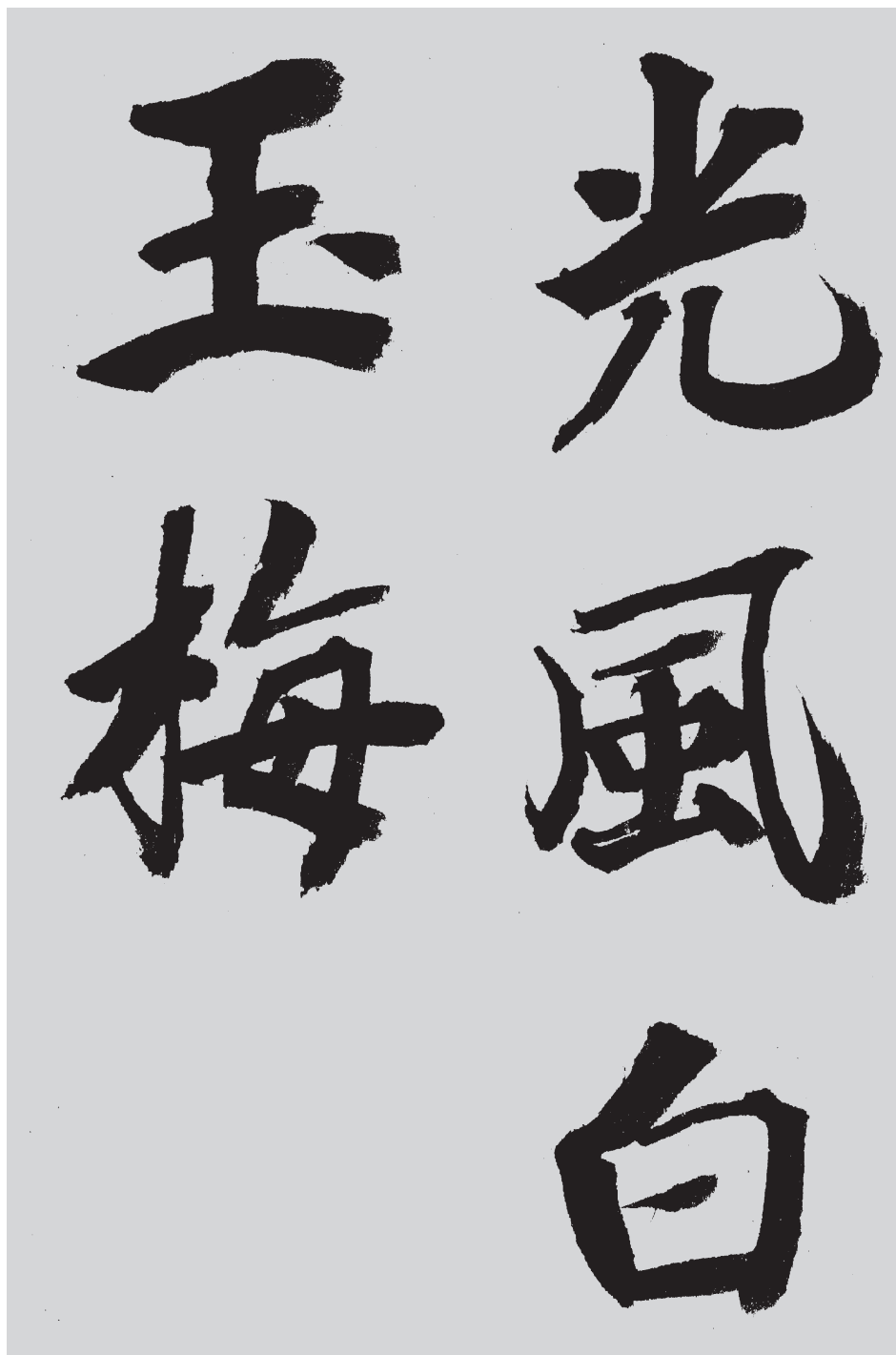
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料550円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

光風白玉の梅(苑成大)

訳：白玉のような梅花に雨あがりの風がそよふく。



〈安定する形づくり〉
「風」は「背勢」で引き締め合い、「白」は「向勢」によりふくよかさを表出します。「玉」は「俯仰」の筆意がよく表わされています。それぞれの特色を見定めて。



◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

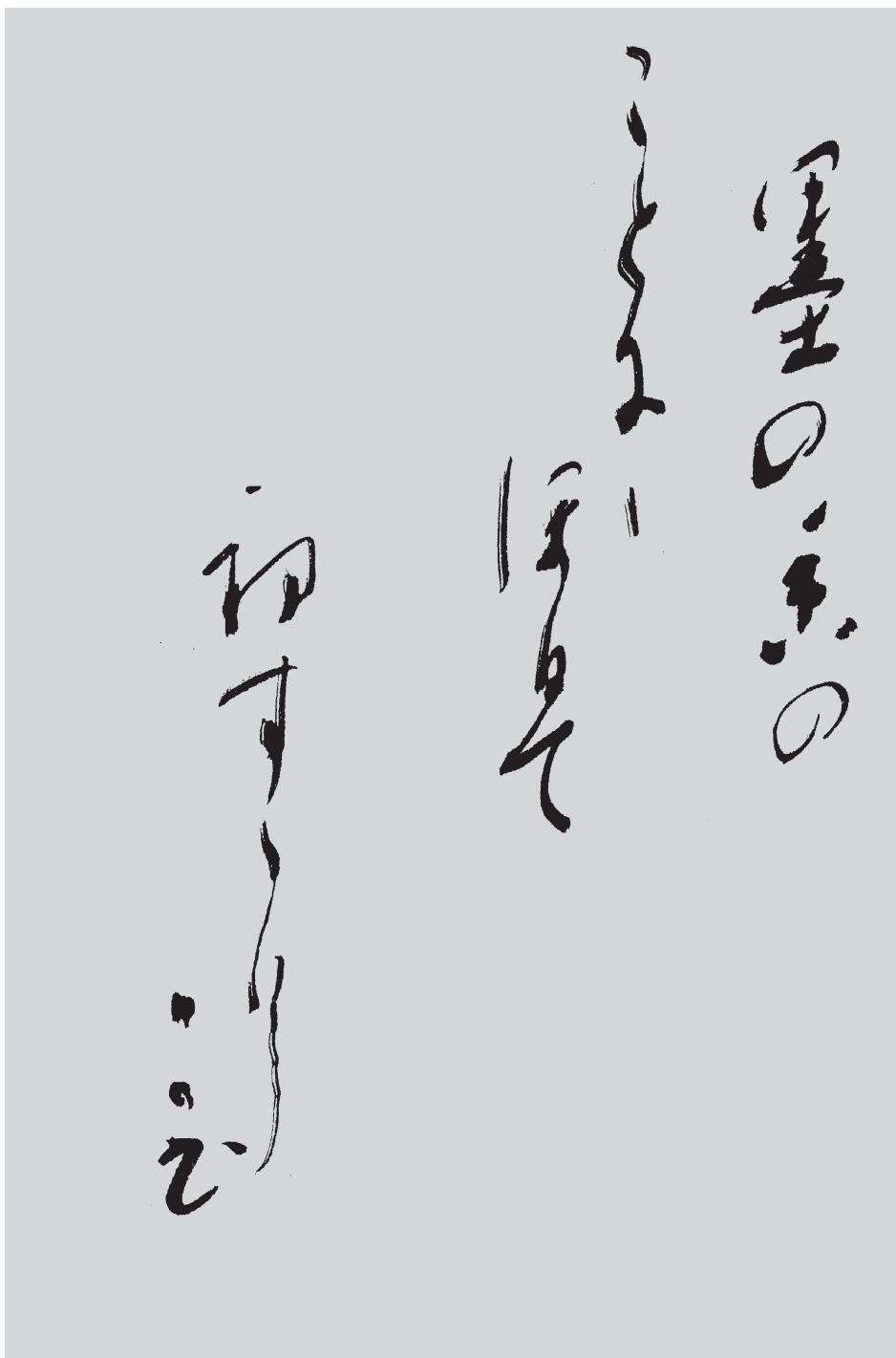
①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

墨の香の殊にほひて初すずり (喜久榮)
墨の香のことゝほひて初すずり

〈書き込んで「流れ」を〉

一行目の「墨の香の」漢字が強いので、主調の「ことゝほひて」が弱くなり易い。縦への用筆を強め、抑揚化を心懸けたい。左群の下五句、落款で右群に照応させ、特に「り」はスマートに活かせたい。

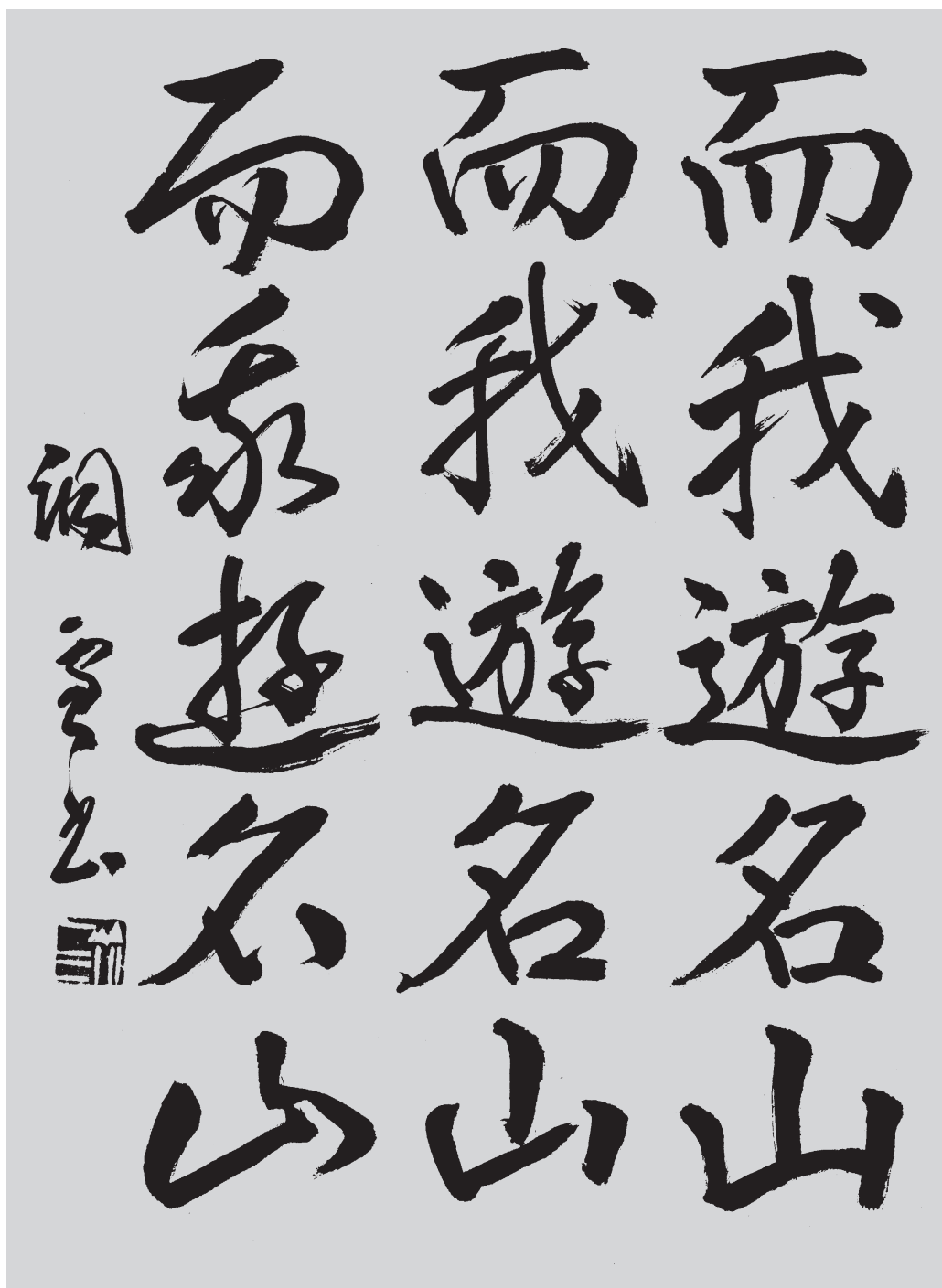


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

加藤洞雪先生書

而我遊名山（李白）
而して我^{われ}名^{めい}山^{ざん}に遊^{あそ}び



訳：かくして私は、名山に遊び、

1. 随意部参考として出品してください。 2. 会員外の出品料は460円。

山田紫苑先生書

嚴霜夜結 悲風晝起（傳玄）
嚴霜夜に結び、悲風晝起る。

嚴霜夜結
悲風晝起

紫苑書

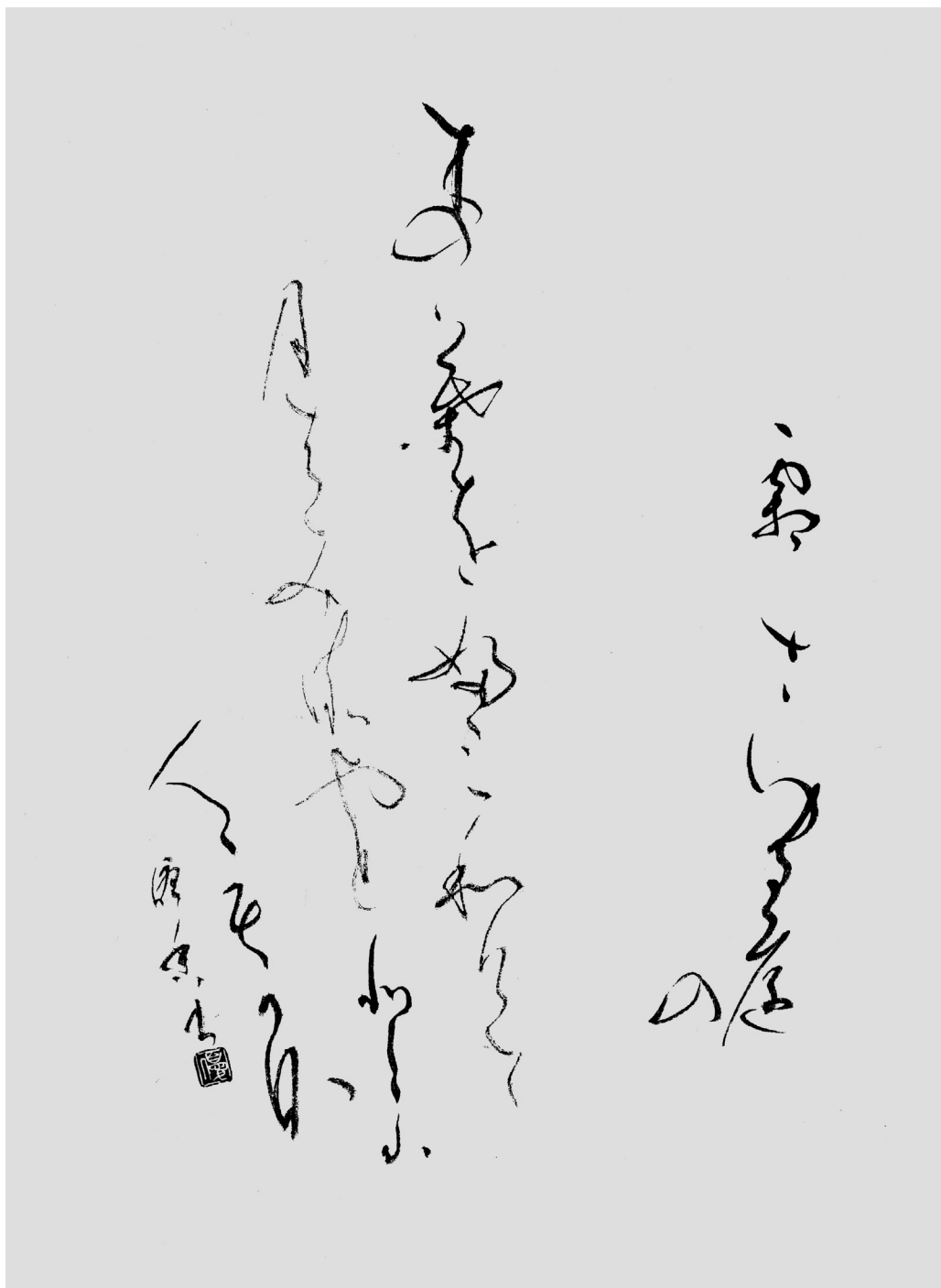


訳：厳しい霜は夜間に降りて白く結び、さびしい風は昼間にさえ起る。

1. 随意部参考として出品してください。 2. 会員外の出品料は460円

本
澤
優
香
先
生
書

霜さゆる庭の木の葉をふみ分けて月はみるやとふ人もがな
霜さゆる庭の木の葉を婦三和介て月者み流やと登ふ人毛可那
(千載和歌集 西行)



1. 随意部参考として出品してください。 2. 会員外の出品料は460円

赤 木 典 子 先 生 書

川 上 香 蓉 先 生 書

課 題 2 (初段階以下)

課 題 1 (初段階以上)

肩にふわりと柔らかな髪が
載っている。それが風もないのに
かすかに揺れていた。

掲げられた日の丸の、あの先端
の金色の球が朝陽に光り、その光が
真緑の松飾りと竹を艶やかにしてい
る光景だ。

課題1 (初段階以上)

掲げられた日の丸の、あの先端の金色の球が朝陽に光り、その光が真緑の松飾りと竹を艶やかにしている光景だ。

「さよならの力 大人の流儀」伊集院静

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題2 (初段階以下)

肩にふわりと柔らかな髪が載っている。それが風もないのかすかに揺れていた。

「枯葉の中の青い炎」辻原 登